

県立ふたば医療センター（仮称）整備の概要について

平成 29 年 11 月 福島県病院局

I 趣旨

- 二次救急医療をはじめとする双葉地域に必要な医療を確保し、次の『3つの安心』を医療の面から支えるため、県立病院として「ふたば医療センター（仮称）」を整備する。
 - ① 住民が安心して帰還し生活できる
 - ② 復興事業従事者が安心して働ける
 - ③ 企業等が安心して進出できる
- 双葉地域で二次救急を担う医療提供体制を整備することにより、近隣地域の二次・三次救急医療機関の負担軽減を図る。

II 医療機能等

- 1 開院時期 平成30年4月1日 ※診療開始時期：平成30年4月中旬頃
- 2 設置場所 富岡町王塚地区おおつか
- 3 医療機能 救急・総合診療（救急専門医及び総合診療医が中心となり対応）
 - (1) 救急医療（24時間365日対応）
 - ア 双葉地域の再開医療機関や近隣の二次・三次救急医療機関、消防機関等との連携のもと、広域的な救急医療体制を構築する。
 - イ 「一次救急」、「高度医療や専門医療を必要としない二次救急」を中心とした救急医療を提供する。
「高度医療や専門医療を必要とする患者」は、県立医科大学附属病院等へ搬送する。
 - (2) 在宅復帰を支える医療（地域包括ケアの一環）
 - ア 急性期治療終了後、在宅復帰に不安のある患者に対して、医師、看護師をはじめ、リハビリスタッフ等が協力し、在宅復帰を支援する。
 - イ 老人保健施設等との連携を深め、入院患者の受入れ等相互補完関係を構築する。
 - (3) 地域住民や復興事業従事者の健康増進支援
 - 職員による出前講座や院内健康講座等を通じて、地域住民や復興事業従事者の病気予防及び健康増進を支援する。
 - (4) 緊急被ばく医療
 - 放射性物質による汚染を伴う傷病者への初期レベルの診療を行う。
 - (5) 教育・研究機能の展開
 - 県立医科大学と連携し、大学研修プログラムへの参加や臨床研修医への研修・教育の実施、地域医療に関心を持つ医学生の受入など人材育成に向けた支援を行う。

III 施設概要

- 1 敷地面積 11,657.7 m²
- 2 延床面積 3,816.16 m²（重量鉄骨造）
- 3 設計 積水ハウス株式会社 郡山支店、株式会社広建設計
- 4 施工 積水ハウス株式会社 郡山支店
- 5 諸室

階	内 容
1階	救急治療手術室、診察室（3室）、病室（30室 ※全室個室）、リハビリテーション室、調剤室、初療室、外来患者処置室、CT室、X線室、検査室、除染室、厨房、デイルーム 等
2階	院長室、事務室、会議室、医局 等
附帯施設	ヘリコプター離着陸施設 等

6 完成予想図



IV 整備スケジュール

	H28年度		H29年度												H30年度	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
実施設計	■															
建築確認			■													
建築					■											
搬入・研修														■		

医療センター開所